

備える

支える

つなぐ

淡路さわやか県土

「淡路さわやか県土」は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

お問い合わせ先

淡路県民局洲本土木事務所
企画調整担当
〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4-5
[TEL] 0799-26-2055
[FAX] 0799-24-4513
[URL] <http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html>
[e-mail] sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

発行：2023年3月20日

2022

Vol.63

社会基盤整備の取り組みについて

安全・安心な淡路島を目指し、自然災害に「備える」、日々の暮らしを「支える」、次世代に持続的な発展を「つなぐ」の3つの視点のもと、緊急かつ重要な事業を計画的・効率的に進めます。



兵庫県の淡路島では南海トラフ巨大地震が発生すると大きな津波による被害が予想されています。特に南あわじ市の福良港では、甚大な浸水被害が予想されており、その被害の低減に向けて福良湾に防波堤を整備する「湾口防波堤整備事業」を進めています。

この湾口防波堤と海岸沿いに整備する防潮堤や陸閘により、浸水面積を小さくし、浸水の深さを浅くするとともに、津波の到達を少しでも遅らせることで、ヒト・モノの被害を軽減し、被害が生じていてもいち早く復旧できることを目指しています。

湾口防波堤は

- ①新しく防波堤を整備する区間
- ②既存の防波堤を嵩上げする区間
- ③水門を整備する区間

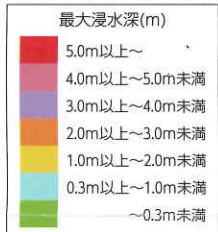
兵庫県最大の津波に備えて ～福良港 湾口防波堤～

で構成されており、令和5年3月現在で約80%の施設整備が完了しています。

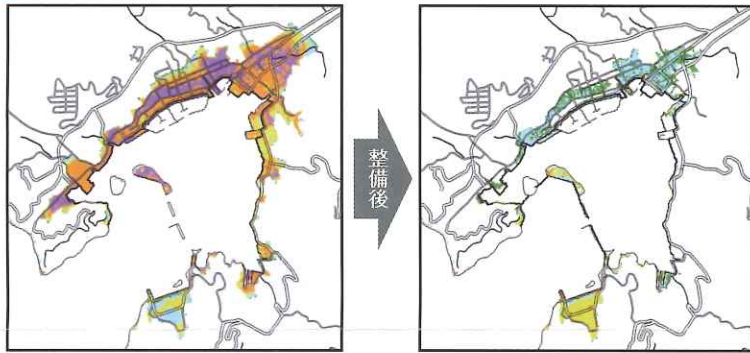
平成29年に工事着手し、令和6年の完了予定に向けて、現在も工事を進めています。

湾口防波堤整備による被害の軽減

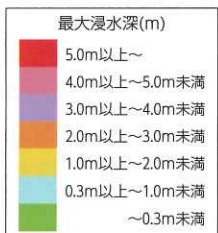
レベル1津波
M8.4
安政南海地震並みの地震動による津波



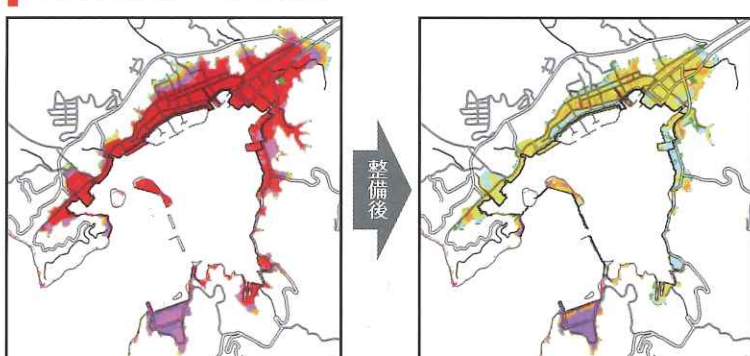
* 堤内地の浸水面積を約6割縮減 * 人家部の浸水深を概ね1m未満に低減
* 木造家屋の全壊がほとんど生じない



レベル2津波
M9.0
最大クラスの地震の地震動による津波



* 堤内地の浸水面積を約3割縮減



出展：津波防災インフラ整備計画(兵庫県)

Topics ①

右の施設は防災を学べる「うすまる」です。建物は特殊な素材を使っていますが、皆さんは、この建物の壁がなぜ錆びているのかを知っていますか？ 気になるひとは行ってみよう!!



Topics ②



煙島と洲崎の間に新設する煙島水門は「海底設置型フラップゲート」と言い、西日本で初めて整備される新しい技術の水門です。浮力を利用して扉を閉鎖します。

写真で振り返る



平成30年1月
洲崎工区 かさ上げに着手



平成30年10月
洲崎工区 仮設栈橋の完成



平成31年2月
じゃのひれ側 仮設栈橋



令和2年6月
新設、かさ上げを進める



令和3年1月
煙島～休暇村の整備



令和3年12月
煙島水門の設置

湾口防波堤整備後のイメージ

若人の広場より撮影(向かって左端が休暇村、右側がじゃのひれ)。元々は真ん中あたりにしか防波堤はありませんでしたが、3か所の開口部を除き、防波堤を整備します。

着手する前



完成イメージ



